

アドバイザー派遣事業実施レポート

<研究団体> 鳥取県学校体育研究連合会女子体育研究部

<実施期日> 平成28年9月27日

<実施場所> 米子西校等学校

<アドバイザー> 岡山商科大学 青山敦子先生

<参加者> 小中学校教員 12名 高校教員・社会教育 5名

<まとめ>

講 義 「誰でも楽しめるダンスの動きづくりと教材について」

ダンス指導を苦手と感じている指導者に対し、「材料の提供」「言葉かけ」「課題の提供」についての話を伺った。また、「初歩的なダンス指導の考え方」の大切さを教わった。

実技指導 「動ける身体を作るための指導法」「学年に応じた作品作り」

- ・動ける身体を作るためにはゲーム感覚で遊びながらダンスに移行していくことが大切。
- ・円形ウォーミングアップにより、運動量を確保していくこと。
- ・脳トレ遊びを一人あるいは二人で行うこと。
- ・リズムを手拍子・足拍子で感じ取ること。 ・ヒップホップの基本ダウン・アップ。
- ・作品づくりの第一歩としての簡単な指導法。

(ペアで16呼間の動きを作り、8ペアの動きを合わせて簡単に作品づくりができる)

これから行うダンス指導に即活用できる内容であった。ダンス指導に活かしていきたい。

<研修会の様子> 講義「ダンス指導のこれから」



実技指導「動ける身体を作るための指導法」

